J R 四国労組ニュース

平成29年2月3日 (No.13)

発行責任者/中濱 斉

編集責任者/幸 大

経営協議会開催

～ 平成28年度効率化施策等 ～

本部は、2月1日に開催された経営協議会において「平成28年度効率化施策等について」説明を受けた。

冒頭、会社側より「今年度については、「中期経営計画」の最終年度であり重要な仕上げの段階にあることを認識し、目標である「四国とともに歩む企業グループへ」「自立経営に向けた基盤強化」の実現、及び平成32年度を目標とする「自立計画の確立」の達成に向けて、厳しく且つ変化の激しい経営環境に柔軟に対応しつつ、徹底した業務の効率化を図るとともに、人的・物的能力を最大限に発揮させることにより、継続的かつ安定的な収益が確保できる経営体質を構築するよう各種経営課題の解決に向け取り組んできた。また、関係各部とともに効率的な業務執行体制を検討し計画の具体化を進め、施策の実施に向けて鋭意取り組んできたところである。」との考え方が示された。その後、営業部をはじめ、各部より諸施策について説明があった。

◆ 平成28年度効率化施策等について

1 営業部関連

○駅管理業務の部外委託の本実施について

高松管理駅において試行的に実施していた一部業務の部外委託について、本実施する。

2 運輸部関連

○一部ダイヤ改正に伴う乗務員運用の見直しについて

一部ダイヤ改正に伴い、乗務員運用の見直し変更を行う。

説明を受けての質疑（要旨）

○営業部関連

【組合】高松管理駅で試行している一部業務の部外委託の実施はいつ頃を予定しているのか。また今後、他の管理駅に拡大する予定はあるのか。

【会社】平成29年4月1日から本実施する。

今後は、高松管理駅の隣接エリアである多度津管理駅及び徳島管理駅において実施できるか検討している。

【組合】前回の経営協議会で説明のあった券売機管理について、故障時等異常時の対応はどちらが行うことになったのか。

【会社】異常時の対応を含めて委託先であるジェイアール四国メンテナンスが対応する。

○運輸部関連

【組合】信用降車型ワンマン運転の試行はいつまでか。また今春、一部のダイヤ改正を実施するのに合わせ、運行本数の変更等はあるのか。

【会社】信用降車型ワンマン運転については、一部ダイヤ改正に合わせ平成29年3月4日から運用する。併せて、高松地区において列車本数を拡大する計画である。

以上